

# 第 1 回 DX による利便性向上部会における検討について

## 1 30 期協議会テーマ

「都立図書館の DX とその先にあるサービス」

デジタルの力でサービスを変革し、さまざまな都民へのサービスを向上させる。

協議の視点…①「DX による利便性向上」、②「利用者に応じたサービスの進化」

▼ 都立図書館の現状、DX に向けた課題を整理した上で、生活様式の変化等を踏まえつつ、実現すべき新たなサービスの在り方や、変革の進め方を具体的に検討する。

※いつでもどこでも誰でも利用できる図書館の実現に向け議論。  
②ともリンクするが、②では「誰でも」により焦点化。

※DX…「ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。

- ・ デジタイゼーション：アナログ・物理データの単純なデジタルデータ化
- ・ デジタライゼーション：個別の業務・製造プロセスのデジタル化
- ・ デジタルトランスフォーメーション：組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、  
“顧客起点の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革

< 「DX レポート 2(中間とりまとめ)」(経済産業省) より。企業向けの段階別定義。 >

## 2 DX による利便性向上部会のゴール

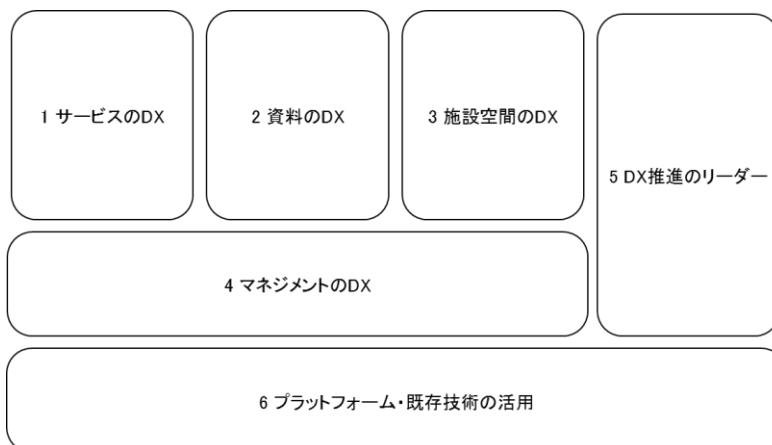
- ・ 都立図書館の現状、DX に向けた課題等を踏まえて、都立図書館の DX の方向性について検討する。
- ・ 実現すべき新たなサービスについて具体的に検討する。なお、検討に当たっては、先端的なデジタル技術の積極的な活用、リアルとバーチャルの融合等についても留意する。

## 3 第 1 回部会での検討について

都立図書館の DX の方向性について、現状等を踏まえて自由に意見を出し合った。

委員の意見を大きく 6 つに分類し、以下の図のように構造を示した。

1. サービスの DX
2. 資料の DX
3. 施設空間の DX
4. マネジメントの DX
5. DX 推進のリーダー
6. プラットフォーム・既存技術の活用



→ 資料 2 「第 1 回 DX による利便性向上部会検討のまとめ」 参照